

2021 年度フルブライト米国人招へい講師 受け入れ大学募集要項

- 目的、概要、招へいの方法 -

■目的

「フルブライト米国人招へい講師プログラム」は、日米教育委員会の主要研究領域である「米国の研究」の下に置かれ、米国人教授が日本の四年制大学でそれぞれの専門分野(注:人文・社会科学のみ)の講義を通して、日本の学生に米国の歴史、社会、文化、思想等を紹介し、米国への理解を深めることを目的としています。

講師派遣の対象となる大学は、既存のアメリカ研究講座を持つ大学はもとより、米国人講師による講義が学生にとって何らかの教育効果をもたらすと期待する大学も含まれます。なおこのプログラムは、語学(英語)教育、特定の米国人を招へいするための財政面の援助、不在になる教授の担当科目の代講、外国人留学生対象の英語で行われる授業の担当、等を目的とするものではありません。

■概要

※新型コロナウイルス感染症の影響により、受入期間など変更が生じる場合がございます。予めご了承ください。

1) 規模

2021 年度のフルブライト講師プログラムで招へいする講師は年間約5名の予定です。

2) 滞在期間

講師の滞在は通常9月半ばから翌年の7月半ばまでの10ヶ月間です。ただし、講師または日本の受け入れ大学の都合により1学期(5ヶ月間)のみの場合も可能です。

3) 経費

日米教育委員会は講師の生活費、住宅手当、家族手当、疾病・傷害保険、往復旅費等、基本的な必要経費を講師に直接支給します。また来日のための査証(教授ビザ)、航空券の手配等の事務手続き、および講師への支払いは当委員会が行います。

4) 活動

講師はフルタイムで(下記b参照)正規の授業を行うこととします。講義は英語で行いますが、語学(英語)教育を目的とするものではありません。履修登録が極端に少なくなるような講義内容、設定は避けてください。

a: 担当授業科目

人文・社会科学系の分野に限られ、かつ米国に関する講義が望まれます。必修・選択、学部レベル・大学院レベル、講義・ゼミ形式いずれでも構いませんが、日本人学生を対象とした、単位付きの正規の授業科目であることとします。外国人留学生を対象とした特別な授業科目・講座は適当ではありません。

b: 担当授業時間数(teaching load)

1週間に4コマ(注:1コマは、週1回90分の授業)あるいは(通年4単位または半期2単位のコース)4コース。一大学でこの時間数を担当できない場合は、近隣の他大学と共同で招へいを申請することをお勧めします。

5) 選考

講師の候補者は毎年、来日前年の春に米国内で行われる一般公募に応募し、秋に米国内で行われる専門家による審査(peer review)を経て、12月に当委員会に推薦されます。当委員会は推薦された者の中から最適候補者を選出します。

6) 派遣先

派遣先は、フルブライト講師受け入れの希望を予め示した、日本の四年制大学を対象とします。既存のアメリカ研究プログラムを持つ大学に限らず、学生の教育面でフルブライト講師の貢献に期待する大学も含まれます。その年に選ばれた講師候補者に最も相応しいと当委員会が判断した大学に決定します。

7) 受け入れ大学の責任

講師の滞在に必要な基本的経費は当委員会が支給しますが(上記 3)、住宅の提供、研究室の提供、その他講師の教育活動が円滑に行われるよう学術面・事務取扱・生活全般に関して支援をお願いします。また受け入れが決定した場合、受け入れ担当責任者(教員・職員)を明確にご指名ください。詳しくは「米国人フルブライト招聘講師受け入れ要領」を下記ウェブサイトに掲載しておりますので、ご参照ください。
https://www.fulbright.jp/scholarship/usa_about.html

■招へいの方法

講師の招へいを希望する大学は、招へい理由、希望する学術分野、大学が提供できる便宜等々を回答用紙に記入し、2020年11月9日(月)までに日米教育委員会フルブライト交流部までお送りください(下記 ■ 日程 A 参照)。お寄せ下さる回答は一大学から何件でも構いませんが、フルブライト講師を招へいすることについて、記入者の単独の意見だけではなく、部局関係諸氏の同意があることが必要となります。また次の点も併せてご了承ください。

- (1) 招へい講師の専門分野については、比較的人材が得られ易い分野とそうでない分野(例えば経済学)があります。希望分野の講師候補者が選出されない場合もあります。
- (2) 講師の人数が約5名と限られているので、招へい希望を多数お預かりした場合は全ての要請に応じることはできません。

■日程

A. 2021年度にフルブライト講師の招へいを希望する大学は、2020年11月9日(月)までに当委員会フルブライト交流部へ「回答」を Word ファイルにて、メール <program@fulbright.jp> で送付。
回答用紙は https://www.fulbright.jp/scholarship/usa_about.html からダウンロードしてください。

B. 2021年度フルブライト講師の選考～来日までの流れ

- ① 2020年春 ----- 2021年度講師プログラムの募集開始(米国協力機関にて)。
- ② 2020年秋 ----- 応募者の書類審査(米国内)。米国協力機関より当委員会への候補者推薦。
- ③ 2020年12月下旬 ----- 当委員会の審査後、講師の内定。受け入れ大学への内定通知。
- ④ 2021年1月 ----- 受け入れ先大学正式決定。
- ⑤ 2021年2・3月～夏 ----- 日本の受け入れ大学と講師の間で、授業や生活面等詳細についての打ち合わせ(メール等による)。
- ⑥ 2021年9月 ----- 講師の来日。東京でのオリエンテーションの後それぞれの任地に赴く。
- ⑦ 2021年秋～2022年7月 ----- 日本の大学で1学期間あるいは1学年間の講義を行う。半期の場合、2021年秋または2022年春に来日。

詳細についての問い合わせ、および「回答」の送付先:

日米教育委員会 フルブライト交流部

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グランドビル 207

E-mail: program@fulbright.jp / URL: <https://www.fulbright.jp>